

五稜郭公園サクラの木を後世に、「食害虫」から守る取り組み

7/6（月） 第一生命（清和オフィス）様の支援・協力で実施！

一般財団法人函館市住宅都市施設公社（公園管理部花と緑の課）では、6/17～30に実施した、五稜郭公園「サクラの木へお礼肥」プロジェクトで「コスカシバ（食害虫）」の幼虫による食害が多くのサクラの木に見られたため、同プロジェクトに参加した第一生命（清和営業オフィス）様がコスカシバ対策として「合成性フェロモン剤」を函館市へ寄附されたことから、第一生命（清和営業オフィス）の皆さまと一緒に、同公園のサクラへ取り付ける作業を下記のとおり実施いたします。ご多用の折恐縮ですが、是非ご来園くださいますようお願い申し上げます。

■五稜郭公園「コスカシバ（食害虫）対策」実施概要

<https://www.hakodate-jts-kosya.jp/whatsnew/>

実施日： 2020年7月6日（月）9:00～15:00（五稜郭公園裏門事務所前 9:00 集合）

実施団体： 一般財団法人函館市住宅都市施設公社

指導・解説： 樹木医 齋藤保次

ボランティア協力団体：第一生命（清和営業オフィス）様 22名 参加予定

なお、「合成性フェロモン剤」の取付のほか、齋藤樹木医による指導で針金等をコスカシバの侵入口に差し込み駆除する方法等、生態系に影響を及ぼさない方法での駆除も合わせて実施いたします。

■コスカシバ（食害虫）とは

成虫は樹幹の傷などに産卵し、2週間ぐらいで孵化します。そして樹皮下に穿入し、そのまま越冬します。翌年成虫になるまで、樹木にとっては大切な、細胞分裂を盛んに行う形成層を食害するため、樹皮が荒れ胴枯れ病などを起こして徐々に衰退していきます。

■「合成性フェロモン剤」を使用する理由

殺虫剤等を使用する方法ではサクラと共存する益虫までも除去してしまうことや、散布時の飛散等を考慮し、コスカシバ（食害虫）の交尾を阻害、幼虫の発生を低下させることで、効果が得られる「合成性フェロモン剤」を使用します。取付方法が容易であり、ご支援くださった第一生命（清和営業オフィス）の皆さまと一緒に五稜郭公園のサクラの枝などへ取り付けます。



コスカシバ 幼虫



コスカシバ 成虫



合成性フェロモン剤 取付例

■感謝状贈呈（函館市から第一生命様へ）同日 14:45～現地にて実施と聞いております。

■本件に関するお問い合わせ先

企業名： 一般財団法人函館市住宅都市施設公社
担当者名： 公園管理部 花と緑の課 渡辺・上田
TEL： 0138-40-3605（当日の連絡先 090-6874-7932）
Mail： hana_midori@hakodate-jts-kosya.jp